

マスターズ広島 News Letter

第6号（2011年12月19日）
発行：「広島大学マスターズ広島」事務局

【目次】

1. 第5回広島大学ホームカミングデーの懇親会における代表幹事による活動紹介について
2. 秋の例会の開催報告について
3. 広島大学マスターズ（東広島）の学長表彰の受賞について
4. 日韓理工系学部留学生向けの予備教育授業の担当について
5. 広島大学の教養教育科目「平和科目」の平成24年度の授業担当について
6. ホームページでの会員紹介の情報提供について
7. 会員の異動について

1. 第5回広島大学ホームカミングデーの懇親会における代表幹事による活動紹介について

広島大学の卒業生・元教職員と在学生・教職員等の広島大学にゆかりのある方々と東広島市及び広島市の市民の皆さんとの交流・情報交換の場として定着してきている広島大学のホームカミングデーが、今年は次のとおり開催されました。

日時：平成23年11月5日（土）

場所：広島大学東広島キャンパス、霞キャンパス等

主なプログラム：

【東広島キャンパス】（サタケ・メモリアルホール）

10:30-11:10 オープニングセレモニー&フォーラム

11:15-12:30 〈文化講演〉「生きがいー人生の最高峰を目指してー」

プロスキーヤー、冒険家 三浦雄一郎氏

13:30-14:45 〈学術講演〉「依存から自立へー立ち位置の転換点ー」

元三重県知事、早稲田大学大学院教授 北川正恭氏

【霞キャンパス】（広仁会館大会議室）

16:00-17:30 〈講演会〉「テレビ報道のウラ・オモテ」

テレビリポーター・コメンテーター 辛坊次郎氏

第5回ホームカミングデーの開催状況は、次の広島大学校友会のホームページで詳細な報告が掲載されています。是非ともご覧ください。

http://www.hiroshima-u.ac.jp/news/show/id/12359/dir_id/65

なお、15時30分から17時まで、学生会館2Fレセプションホールで開催されたホームカミングデーの懇親会では、広島大学マスターズ及び広島大学マスターズ広島の代表幹事によるご挨拶と、簡単な活動紹介が行われました。広島大学マスターズ広島の代表幹事の渡辺先生の挨拶と活動紹介は次のとおりです。

【広島大学マスターズ広島の活動について】

代表幹事 渡邊一雄

「広島大学マスターズ広島」は広島市在住者を中心とする広島大学退職者（教員から職員まで）によって昨年夏に発足したばかりの組織です。先発の兄貴分である「広島大学マスターズ」（東広島市在住者中心）は、過去5年間の活動に対してこのたび「学長表彰」の栄誉を受けられるとお聞きしています。本当におめでとうございます。昨夏からは東広島と広島とでたがいに補い合って活動を始めたところです。

きょうはお天気がいまいつでしたが、若い人たちのエネルギーに支えられた広大の息吹を大いに感じる事ができました。

「広島大学マスターズ」が東広島市と広島市に二つ存在することを不思議に思われるかもしれませんが、はじめにできて今回の栄に浴される東広島市の「マスターズ」が、地域特性をにらんだ組織として素晴らしい活動実績をあげてスタートしておられます。われわれは昨年夏、数倍の有資格者を擁する広島市に新たにマスターズを立ちあげました。実質的には両マスターズは緊密な関係を保ちながら上手く仕事を切り分けて、社会と大学に対する貢献を果たしていきます。

皆様方の今後の大いなるご支援、ご援助をよろしくお願い申し上げます。



2. 秋の例会の開催報告について

平成23年度の秋の例会は、世界遺産に指定されている宮島を訪問し、次のとおり厳島神社宝物所蔵庫・宝物館、及び宮島水族館（みやじマリン）を見学しました。

日時：平成23年11月8日（火）

10：00 宮島栈橋に集合

10：30－11：50 厳島神社宝物所蔵庫・宝物館の拝観

12：00－13：00 昼食

13：30－15：00 宮島水族館（みやじマリン）の見学



厳島神社宝物所蔵庫



厳島神社宝物館



宮島水族館（みやじマリン）

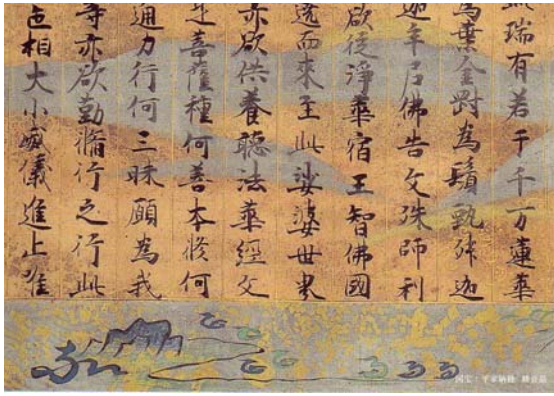
来年のNHKの大河ドラマが「平清盛」となった関係で、宮島の観光客が増えるのではないかと思います。このたび廿日市市観光課のご協力により、宮島厳島神社の所有物である国宝「平家納経」の実物を拝観しながら、同神社の禰宜により特別に説明していただくとともに、廿日市市が管理している宮島水族館の全体的な説明と館内の案内を同水族館の館長にいただきました。

例会の開催を当初11月初旬の土曜日か日曜日に開催ということで日程調整をしていましたが、秋の観光シーズン中ということで、国宝の平家納経についての説明を土曜日・日曜日に行うのは難しいという厳島神社のご意向で、残念ながら平日の開催になってしまいました。会員の方からは、例会をなぜ土曜日に開催するのかとのご意見をいただきましたが、今回の企画では厳島神社のご都合に合わせざるを得なかったという事情がありましたことをご理解いただければ幸いです。次回からは、例会の開催につきましては、皆さにご参加いただけるような日程で計画させていただくことにします。

【国宝・平家納経の拝観】

平家納経は、法華経28巻ほかの33巻で構成されています。平家一門の繁栄を祈り、一族郎党32人の血縁者によって書写されたものです。

厳島神社では、毎年春と秋の1ヶ月間を同神社が所蔵する家納経の一部を特別展示されています。今回、展示されていた紺紙金字法華経（5巻と6巻）は、平清盛と異母弟の頼盛が合筆したもので、巻末の奥書には書写された日付と、清盛自筆の行数が記載されています。



国宝・平家納経「妙音品」(24巻)：絵葉書

藍染の紺紙に銀泥で写経の界線が引かれ、経文は金泥（金をニカワで溶いたもの）で写経されています。ニカワは、金の文字の剥落止めに使われているとのこと。この紺紙金字法華経は、「字で書かれた平家納経」として国宝になっていますが、左掲の平家納経「妙音品」（第24巻）は、「絵巻物として書かれた平家納経」として国宝になっているものであるとのこと。これらは、写真のように和紙に黒い墨で写経が書かれています。写経部の天界には霞と飛鳥が描かれ、地界には蘆（あし）が描かれ、文字をかたどった岩や水鳥の蘆手文字が書かれているとのこと。

厳島神社の平家納経の実物を拝観しながら、神社の禰宜の方から直接ご説明いただいたことで、平家納経の素

晴らしさを改めて皆さんが堪能されたのではないかと思います。



厳島神社の宝物所蔵庫前での記念写真

【宮島水族館（みやじマリン）の見学】

午後の部で訪問した宮島水族館は、今年8月にリニューアル・オープンした水族館で、広島大学の前理事・副学長の上真一教授のお知り合いで、8月のオープン時に神戸市の須磨水族館から迎えられた塚本博一館長から、宮島水族館の特徴や機能について右掲の写真のように全体的なご説明をしていただき、館内をご案内いただきました。暗い海の中できらきら輝く太刀魚や、空飛ぶペンギンなどに興味を持たれた方が多いのではないかと思います。最後にアシカのショーまで見せていただき、参加された皆さんは楽しい一日を過ごされたのではないかと思います。





宮島水族館（みやじマリン）前での記念写真

3. 広島大学マスターズ（東広島）の学長表彰の受賞について

本会の参与を務めていただいています金田晋先生が代表幹事の広島大学マスターズ（東広島）が、第10回（平成23年度）広島大学長表彰を受賞されました。11月24日（木）に学士会館レセプションホールで開催されました授与式に、金田先生のほか、広島大学マスターズ（東広島）の副代表幹事の安藤忠男先生、広報担当幹事の平田敏文先生が出席されたとのことです。

表彰理由として、広島大学のホームページでは次のように掲載されています。「平成18年に設立されて以降、今日まで市民講座などを200回以上開催され、さらに今年度からは本学の教養教育にも参画されるなど、地域社会への貢献と本学の教育や社会連携事業への支援を通して、本学の発展に顕著な貢献をされました。」本表彰は、広島大学マスターズ（東広島）が地域社会への貢献と教育啓蒙活動の両面から高い評価を受けた証しであり、広島において昨年から同様な活動を始めた本会としても慶賀したいと思います。

学長表彰の授与式の詳細は、広島大学マスターズ（東広島）の次のホームページをご覧ください。

<http://home.hiroshima-u.ac.jp/masters/>

4. 日韓理工系学部留学生向けの予備教育授業の担当について

前号の会報でご紹介しましたように、広島大学からの依頼により、広島大学理工系学部に韓国から留学してき

ている学生向けの予備教育事業として、本会と東広島の広島大学マスターズが協力して、数学・物理・化学・生物の4科目につき、日本と韓国の教育内容を比べて、①欠けたところ、不十分なところを補う、②大学教育に対応するための準備の指導で、10月から3月までの10週（各科目について週1回（90分）の授業を、次のように担当しています。

広島大学マスターズ広島の担当

物理：（責任者）山下英生先生、（担当者）山下英生先生、米倉亜州夫先生

生物：（責任者）渡邊一雄先生、（担当者）渡邊一雄先生

広島大学マスターズの担当

数学：（責任者）水田義弘先生、（担当者）水田義弘先生

化学：（責任者）平田敏文先生、（担当者）平田敏文先生

【実施責任者の所感（渡邊一雄）】

困難な仕事をお引き受けいただいた先生方に心から感謝申し上げます。

日本語が不自由なまま単身来日した20歳前の青年たちを前に、われわれに“なにができるか”、想い半ばのままにいま終えようとしております。大学とは、学問とは、日本とは、広島とは、という真摯な問いに対して、それに対する”敬愛の念を広島大学に伝えること“を基本にできないと成立しないと感じています。

彼らのために、そして広島大学の国際貢献のために、広島大学に何ができるかの整理が必要だと思いました。

5. 広島大学の教養教育科目「平和科目」の平成24年度の授業担当について

広島大学が平成23年度から教養コア科目として、「平和科目」を25科目開講することになったことに協力するため、本会では東千田キャンパスにおいて平成23年度前期において「平和と人間Cー広島で学ぶ（原爆とは何だったか）ー」、後期に「平和と人間Dー広島から未来に向けてー」の2科目を担当しています。

平成23年度における東広島での履修状況から、大学から東広島での開講科目を増やしてほしいとの要請があり、平成24年度は前期に東広島キャンパス、後期に東千田キャンパスで各1科目ずつ開講することになり、現在担当者の調整が行われています。

6. ホームページでの会員紹介の情報提供について

広島大学マスターズ広島の活動は、いまのところ大学からの依頼の事業が多くなっていますが、これからは本会が独自に企画にした具体的な事業の展開を考えたいと思っています。そのために、会員の皆様方の得意分野・特技などに関する情報や、本会において可能な活動をお尋ねするアンケートを先般行わせていただきました。皆様からお寄せいただいた貴重な情報をホームページで公開させていただくとともに、今後の本会の活動の充実に活用させていただきたいと思います。まだアンケートにお答えいただいていない方は、早急にご協力いただければ幸いです。

7. 会員の異動について

【入会者】

村上恒二（元医学部教授）

平木秀作（元経済学部教授）

お二人とも11月に入会を希望され、入会申込書を提出され、入会金を納付されました。

【退会者】

田代嘉宏（元総合科学部教授）

高齢につき、活動に参加が難しくなったということで退会を希望されました。

なお、入会金の返金分については、本会の充実のためのご活用下さいということでご寄付いただきました。ここに記して深く御礼申し上げます。

【訃 報】

松村幹男（元教育学部教授）

2011年8月にご逝去されました。謹んでお悔やみ申し上げます。

なお、奥様のご厚情により、先生の入会されたご意思を組んで、本会の充実のためにご使用くださいということで、退会に関わる入会金の返金分についてご寄付いただきました。ここに記して深く御礼申し上げます。

広島大学マスターズ広島事務局

〒730-0053

広島市中区東千田町一丁目1番89号

広島大学東千田地区支援室気付

(FAX) 082-542-6964

(E-mail) masters2@hiroshima-u.ac.jp